

介護付有料老人ホームを運営するチャームケアと東北大学の産学連携の取り組み 認知症改善プロジェクト 第3回「チャーム・カレッジ」を12月7日（土）に開催決定！



監修：
東北大学特任教授
村田裕之先生

首都圏・近畿圏を中心に介護付有料老人ホームを運営する株式会社チャーム・ケア・コーポレーション（本社：大阪府大阪市 / 代表取締役社長：下村隆彦 / 以下チャームケア）は、東北大学村田裕之先生監修による「認知症改善プロジェクト」の一環として、第3回「チャーム・カレッジ」を2019年12月7日（土）にチャームプレミア田園調布にて開催いたします。

第2回は、2019年10月18日（金）にチャームプレミア永福にて開催。ご入居者様やご入居者様のご家族をはじめ、総勢30名が参加しました。認知症予防を前提に、脳の発達と加齢についてのメカニズムや、健康脳を維持する方法について、東北大学加齢医学研究所の瀧靖之先生にご紹介いただきました。

第3回のチャーム・カレッジでは、再び東北大学村田裕之先生をお招きし、「元気でいきいきと過ごすための秘訣」をテーマに講義を行います。

<第3回チャーム・カレッジ 開催概要>

日 程：2019年12月7日（土）

時 間：14：00～15：00

会 場：チャームプレミア 田園調布

〒150-0047 東京都世田谷区玉川田園調布一丁目9番10号

http://www.charmcc.jp/east_homes/charmprimer_denenchoufu/

最寄駅：東急東横線「田園調布」駅より北へ徒歩約5分（約400m）

定 員：限定30名様ご招待



村田 裕之 先生

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター
特任教授

東北大学スマート・エイジング・カレッジ副校長

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター特任教授。
村田アソシエイツ代表。日本のシニアビジネス分野のバイオニア
として多くの民間企業の新商品・サービス開発を支援。2006年ス
mart・エイジングのコンセプトを提唱し、センター設立に参画、
日本発の対認知症非薬物療法「学習療法」の米国導入を実現した。
高齢社会研究の第一人者として講演、新聞・雑誌への執筆、著書
も多数。高齢化の国際情勢にも詳しく、海外諸国より頻繁に講演
者として招聘される。2018年5月Asia Pacific Eldercare
Innovation Awardsにより優れた業績を上げた人として
「GLOBAL AGEING INFLUENCERS」に選ばれた。

【主な著書】

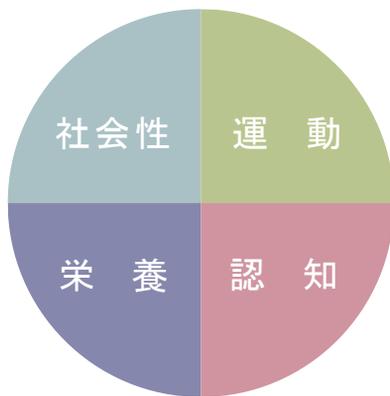
主な著書に「スマート・エイジング 人生100年時代を生き抜く10の秘訣」（徳間書店）、「親が70歳を過ぎたら読む本」（ダイヤモンド社）、「スマート・エイジングという生き方」（川島隆太教授との共著、扶桑社）、「どうする？親の家の片づけ」（PHP研究所）、など

東北大学が提唱するスマート・エイジング（Smart-Aging）とは？

- ・ 定義：エイジングによる経年変化に賢く対処し、個人・社会が知的に成熟すること。
- ・ 個人は、時間の経過とともに、たとえ高齢期になっても人間として成長でき、より賢くなれる、社会はより賢明で持続的な構造に進化することを意味します。

参考文献：川島隆太・村田裕之共著「スマート・エイジングという生き方」

スマート・エイジングのための4条件



1. 身体を動かす習慣
2. 脳を使う習慣
3. バランスのとれた栄養習慣
4. 人と積極的に関わる習慣

■ 会社概要

- 名 称： 株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション
所 在 地： 大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館19階
代 表 者： 代表取締役社長 下村 隆彦
事業内容： 「介護付有料老人ホーム」及び「住宅型有料老人ホーム」の運営ほか